

令和元年度事業報告について

1. 概要

わが国の総人口が現在も減少し続ける中、これまで生産者人口として経済を支えてきた人々が高齢者人口へと移り変わり、今なお高齢化はますます進んでいる状況です。今後も高齢者人口は増加し「人生100年」と言われる時代の到来を迎えています。

一方、働く意欲や優れた能力を持たれた高齢者がたくさんおられますが、実際に働いている人は2割程度にとどまっているとお聞きしています。そして、生産者人口が年々減少傾向にある中で、国の成長力を確保するためにも、意欲のある高齢者が年齢にかかわらず働き続けることのできる生涯現役社会の構築が強く望まれています。

そうした中、昨年度から始まった「会員100万人達成計画」に基づき、会員の拡大はもちろん、就労機会の実現に向けた様々な取組を行ってきました。また、シルバー人材センター事業に関する補助金は、「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業等」に対して手厚く、人件費や管理費と言った組織を運営する費用は年々先細りとなっています。

このような状況の中、行政をはじめ各関係機関、地域住民のみなさまの深いご理解、ご協力をいただき、令和元年度も、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」のもと会員皆様方の協力と支援をいただきながら、シルバーの根源である「請負・委任事業」や「派遣事業」、さらに、一昨年度より町が主体の地域支援事業を受託し、取り組んだ「介護予防・日常生活総合事業」を含めたシルバー事業の推進に努めて参りました。

その結果、請負・委任事業の契約金額は前年の実績を上回ることが出来ましたが、介護予防・日常生活総合事業の利用者の減少が響き、受注件数、就業延人員はともに前年に比べ減少しました。

一方、派遣事業においても契約金、就業延人員は前年より小幅ながらも増加しましたが、受注件数は前年と比べ1件の減少となりました。

そして、町主催の「産業文化祭」を始め、各地域で開催された催し物に参加し、会員自らが積極的にPR活動を行ったことが実を結んだのか、会員数は前年に比べ若干ではありますが増加しました。

また、安全・適正就業を推し進めるため、安全パトロール、意見交換などで、安全で安心して働ける環境づくりに取り組むことで事故防止の徹底を図りました。その甲斐あって、事故「ゼロ」で就業することができました。これも会員皆様の安全に対する意識の高さだと思っています。今後とも、無事故で就業が推進できるよう努力して参ります。

以下、事業の実績と実施状況について報告します。

2. 事業実績

項目	令和元年度	平成30年度	前年対比	
会員数(人)	140	135	103.7%	
請負・	就業延人員(人日)	9,277	10,283	90.2%
	受注件数(件)	792	818	96.8%
	契約金(円)	24,528,700	24,457,726	100.3%

委任事業	公 民 別	公 共		12,185,881	11,616,389	104.9%
		間	企業	3,428,322	3,382,263	101.4%
			個人	8,914,497	9,459,074	94.2%
	配分金額(円)		19,351,376	19,491,559	99.3%	
	内 新 総 合 事 業	登録会員(人)		16	17	94.1%
		就業延人員(人日)		1,568	2,372	66.1%
		受注件数(件)		12	13	92.3%
契約金(円)		392,000	597,000	65.7%		
配分金額(円)		352,800	537,300	65.7%		
人材派遣事業	登録会員(人)		18	17	105.9%	
	就業延人員(人日)		2,431	2,385	101.9%	
	契約件数(件)		4	5	80.0%	
	契約金(円)		8,356,185	8,032,479	104.0%	
	支払賃金(円)		6,904,730	6,787,695	101.7%	
契約金総額(円)		32,883,994	32,489,181	101.2%		

* 請負・委任事業の実績数値には新総合事業の実績数値を含む。

3. 事業実施状況

1 普及啓発活動の推進

シルバー事業の理念を地域に広く周知し、事業の発展・拡大を図るため、あらゆる機会をとらえて普及活動を実施しました。

(1) 公共機関等を活用した普及啓発

町や地域が開催する行事に参加、あるいはシルバーで作成した広報誌・チラシなどを活用して普及啓発を図りました。

(2) 地域社会への貢献

シルバー事業の活動基盤とする地域社会への貢献の一環として、歴史民俗資料館の周囲の剪定及び清掃など奉仕活動を実施することで普及啓発にも取り組みました。

2 会員拡大の推進

(1) 新規会員の獲得を推進するため、機会あるごとに「会員による1人1会員入会活動の実施」を呼びかけました。

さらに、会員が希望する職種を調査し、希望就業の開拓に努めました。

(2) 親睦行事やサークル活動などに魅力を持っていただけるよう創意・工夫し、退会会員の抑制に努めました。

3 安全・適正就業の推進

(1) 会員の就業中または就業途上での事故防止と適正な就業を図るため、安全管理委員会による安全講習会を仁科会館で開催しました。

(2) 適正就業

「安全就業マニュアル・安全就業基準」に基づき、駐車場など公共的就業場所での長期継続就業の解消やローテーション就業の促進により就業率の向上に努めました。

4 就業機会の開拓・提供業務の推進

会員の多様な就業ニーズに応えるため、また、一人でも多くの会員が就業の機会を得られるよう、シルバー事業のPRを行うとともに、受注の拡大に努めました。

5 適正なセンター運営の推進

センターの効率的な組織の運営や経費の見直しによる財源の確保などを目的とした調査・検討会を持つことで経営基盤の充実・強化を図りました。

また、研修会などを開催し、会員同士の交流と会員相互の連帯意識の高揚を図るなど、組織の活性化と自主的な運営体制の確立に取り組みました。